

キマグレン Rec & Plays POKETRAK CX



昨年夏から人気急騰し、大ブレイクしたデュオ、キマグレン。LMNEWSのvol2にも登場してくれた彼らだが、このところヤマハのポケットレコーダー、POKETRAK CXを使っているという情報をキャッチした。さっそくその使い心地や活用方法についてISEKIとKUREIにQ&A形式でインタビューしてみた。

Question 1
POKETRAK CXをどのような場面で使っていますか？

Answer
ISEKI●まず、曲作りですね。道端でメロディーを思いついたら、POKETRAK CXに録音しておきます。iPodと共に、いつも持ち歩いている必需品です。KUREI●それからLIVEの時の音の確認用に録って、みんなで聴いています。復習と予習のために使っています。

Question 2
POKETRAK CXを使用する以前と以後で変わったことはありますか？

Answer
ISEKI●やっぱり曲作りですね。外でメロディーが思い浮かんだら以前は、携帯に録音してたんです。でも携帯だという機能に限界があるし…。POKETRAK CXの方が全然楽ですね。音も抜群にいいです。KUREI●僕の場合、以前はあまり自分達のLIVEをきちんと聴きこむということをしてなかったんです。まあ、そこまでの段階にもなってなかったっていうのもありますが(笑)。でも今回ツアーで毎回のLIVEの内容を録音してちゃんと聴いてみることで、客観的に良くない部分がハッキリわかりました。次はそこを気をつけてやって、また聴いて、という繰り返しで少しは成長できたかなと思います。



ライブ会場にPOKETRAK CXを持ち込むキマグレン。



簡単に録音できるからリハーサルを録音して、本番前のチェックも行える。



アダプター(標準装備)でマイクスタンドに設置可能。ベストポジションに設置できて便利だ。



作曲ツールとしても活用。アイデアが湧いたら楽屋でもすぐに高音質で録音が可能。

Question 3
POKETRAK CXの良いところはどこですか？

Answer
ISEKI●軽くて持ち歩きに便利ですね。僕はギターを弾きながら歌うので、マイクのスタンドに取り付けられるところも気に入っています。あと、音質がいい。KUREI●データをPCに取り込むのがすごく楽。トラックを分けて取り込むことができるので、編集するのがとても楽です。

Question 4
POKETRAK CXに関して、何か面白いエピソードはありますか？

Answer
ISEKI&KUREI●ツアーの時バスの中で回し聴きして、ちょっと修学旅行みたいな感じでした(笑)

Question 5
音楽をやっている人に、POKETRAK CXをお奨めするコメントをお願いします。

Answer
ISEKI●曲作りにはホント便利です。メロディーが浮かんだらすぐ録って、それをPCに取り込んでプロデューサーやアレンジャーにすぐメールなどで送ることができる。絶対オススメです！
KUREI●LIVEパフォーマンスの向上に役立ちます！実際に客観的に聴いてみて、反省するのは大事だな。曲の部分はモチロンだけど、MCの勉強になるのも大きいです。演奏もMCも、もっともっと上達したいですね。

Information 3月4日(水)、4thシングル発売決定！
「天国の郵便ポスト」UMCK-9269 DVD付初回限定盤 ¥1,500(税込)
UMCK-5234 通常盤 ¥1,000(税込)

軽量コンパクト、長時間駆動と高音質を両立したサウンド志向のポケットレコーダー。

ポケットレコーダー
POKETRAK CX
オープンブライズ

いつも手軽に持ち歩ける高音質のレコーダーが欲しい。そんなサウンド志向の方にぴったりな録音・再生ギアが、ポケットレコーダー「POKETRAK CX」です。わずか92gの軽量・コンパクトなボディに本格的なX-Yステレオマイクロフォンを装備し、単3乾電池1本で約50時間の連続録音・再生を実現。充実した録音・再生機能により、楽器演奏やバンド練習の録音にはもちろん、音質にこだわった本格的なフィールド録音まで幅広い使い方ができます。

大口径・高感度XYマイク!!
好感度90°X-Y型指向性マイクを搭載し、高音質なステレオ録音が可能。

コンパクト!
わずか46.5mm×129.5mm×17.5mm-92g(電池含む)の軽量コンパクトサイズ。

高音質!
CD/DVDクオリティのWAV(48kHz/44.1kHz)とMP3での録音が可能。

長時間!
約50時間の長時間録音*、約54時間の連続再生*可能。



高機能!
80段階GAIN、オートレベルコントロール、ピークリミッター、5バンドグラフィックEQ、ハイパスフィルタ、セルフタイマーなど。

付属!
キャリングポーチ、ステレオイヤホン、USB接続ケーブル、ウインドスクリーン、microSDカード(2G)、エネループ(充電電池)、マイクスタンドアダプター付属。

編集!
録音データの編集が行えるソフトウェアSteinberg Cubase AI 4付属。

※いずれもアルカリ乾電池使用時

ヤマハウェブサイト
<http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハ株式会社
発行元: ヤマハ株式会社 LM営業部 ARTグループ
TEL.03-3476-1529

「PHXは、まったく
次元がちがうドラムだ」

「全国から9校が集い、
熱演を繰り広げた！」

DAVE
WECKL
PLAYS
PHX



The SCHOOL of ROCK'08 音楽祭

「LL36は鳴りがスゴい。
APXは女の子にも弾きやすいです」

moumoon Play
APX900 & LL36

Billy Sheehan
Plays
BB714BS &
ATTITUDE
LIMITED II

「この2本のベースには僕の
新しいアイデアが詰まっている」

「ライブにも、曲作りにも
POKETRAKはもう欠かせない！」

キマグレン Rec & Plays POKETRAK CX

DAVE WECKL PLAYS PHX



PHOTO: Yuka Yamaji

ヤマハドラムの新たなフラッグシップモデル「PHXシリーズ」が発表され、ミュージックシーンで大きな話題を呼んでいる。このコーナーではいち早くPHXをプレイしたデイヴ・ウェックルに、ヤマハドラムの魅力、PHXの特長について語ってもらった。

ガッド、アースキン、ジョーダン。好きなドラマーはみんなヤマハでした。

■まず最初にヤマハドラムを使いはじめたきっかけを教えてください。

●スティーヴ・ガッド、ピーター・アースキン、スティーヴ・ジョーダンなど、私が好きだったドラマーはみんな、ヤマハをプレイしていて、私は彼らのヤマハドラムの音がとても好きだったんです。ですからずいぶん前からヤマハには興味を持っていました。実際に使い始めたのは1983年から。サイモン&ガーファンクルのツアーで叩いていた頃です。

■メインで使っているセットはなんですか。

●一番気に入っているのは90年代初期から使っているメイプルカスタムです。自宅とツアーではこのドラムを使うことが多いです。あと、自宅のスタジオにはパーチカスタムアブソルートを入れていて、それもここ7、8年使っています。最近ではツアーしている時、特にヨーロッパではオークカスタムをプレイすることも多いです。どのドラムも好きですが、メイプルには独特の深み

があって、温かみがあるので、私は一番好んで使っています。パーチはハイエンドがハッキリとしたきらびやかな音質です。オークは材質が堅いので、それほど柔らかい音は出ませんが、ある特定の音楽表現には向いています。どのマテリアルにしても、ヤマハドラムには一貫した高い品質があり、素晴らしいと思っています。

■ヤマハドラムの魅力はなんですか。

●ヤマハのドラムの音はとっても音楽的です。正確だし、暖かい音がします。チューニングが幅広く行え、ハードウェアは特に素晴らしい。そしてあらゆる環境に対応できる能力を持っています。それはどのマテリアルのドラムにも共通して言えることです。もちろん自分にとってドラムのサウンドは最も大切な要素です。ヤマハは自分が出たいと思った音を出してくれます。ヤマハほど、自分の出したい音を正確に再現してくれるドラムはないですね。ヤマハの「どのドラムに対しても細心の注意を払い、高品質のものを作り上げていく」という姿勢がとても好きです。

PHXは、まったく次元が違うドラム。「小さな進歩」ではなく「大きな進化」です。

■デイヴさんは、すでにPHXをライブでプレイしていますね。実際のプレイしてみた印象を聞かせてもらえますか。

●私はもう、40年もドラムを叩いています。いろんなドラムを叩いた経験がありますから、今はめったに感動するようなドラムセットには出会えなくなりました。メイプルカスタムが出たときはレコーディング・カスタムとはずいぶん違っていたので、感動しました。

Y.E.S.S.のマウンティング・システムとラックも素晴らしいかった！でも、このPHXには正直いって、驚きました。今までのものとはまったく違います。本当に凄い！これまでのドラムとは全くちがう次元のものなんです。

■どんな点が特に凄いなと思いましたか。

●PHXの音はとても高品質で、イメージに忠実に鳴ってくれます。今までより、いっそう音に広がりがあるし、深みもあります。パンチも効いている。ダイナミックレンジも非常に広いです。いくら叩いても、あるレベル以上大きな音が出ないドラムがたくさんありますが、PHXは叩いたらその分だけ反応が返ってきます。しかもチューニングの範囲が広いのに、細かく微妙なチューニングができ、しかもトーンは非常に正確です。新型のY.E.S.S. マウンティング・システムも更にパワーアップされていて驚きました。もちろんシェルも改良されています。PHXは格段に進化したドラムになりました。これは「ちょっとした進歩」ではなく、「大きな進化」です。最初、PHXのドラムセットを数回本番で試してみました。それから自宅に持ち帰って、自宅のセットと比べてみたり、レコーディングで使ったりしてみました。すべての状況で検証してみたんです。その結果、いずれの場合でも、過去に経験が無いほどのいい音がしていました。

■そんなにハッキリと音がちがうのでしょうか。

●叩いている自分だけではなく、一緒にプレイしているメンバーにも違いがわかりますよ。マイク・スターンのバンドでも、マイクがすぐに「グレート！」と言いました。LAのライブでプレイしたとき、私のいつものセットでのサウンドをよく知っている人たちがPHXでの演奏を聴いて、その違いに驚いていました。観客の人たちにならわかんんです。ミキシングエンジニアも「このドラムの音はすごいね」と言いに来ましたよ。明らかに、誰が聴いても素晴らしい音なのです。

PHXのフロアタムは素晴らしい。ハンギングから切り替えました。

■PHXをプレイしてみて、プレイスタイルに変化はありましたか。

●大口径のタムについて、今まではずっとハンギングタムを使っていましたが、PHXではフロアタムをつかうことに決めました。PHXのフロアタムはハンギングよりも1インチ長いんですが、そこが気に入っています。通常のフロアタムはPHXよりもさらに1インチ長いのですが、それはあまり気に入っていませんでした。PHXのフロアタムの長さは私にとってちょうどいいのです。PHXのフロアタムは



サウンドに深みがあるし、コントロールもしやすい。それからタムを手で叩くこともあるので、どうしてもハンギングだとグラグラしてしまうんです。バスドラムもいいですね。PHXはバスドラムが独立しているので、変な共鳴がない。今までよりクリアなサウンドが得られます。それはスタジオでレコーディングする際にはとても重要なことです。

■このフリーマガジンを読んでいるドラマーへアドバイスをお願いします。

●ドラマーは、ドラムを叩くだけでなく、バンドのメンバーとして、他の人とプレイしているわけです。ですからひとりでテクニックを磨いてばかりではいけません。できるだけ多くの人とプレイして、幅広いジャンルの音楽を聴くこと。それから自分の音が他のメンバーの音とどのようにミックスされているか、みんなの音楽と調和しているか、それを聞き分ける耳を持つことが大切で

す。たくさんジャンルの音楽を聴いて、音楽的な経験と知識を積み重ねていくことが大切なんです。

■ありがとうございました。最後に今後の目標を聞かせてください。

●健康な身体を保つことですね。健康であれば大好きなステージやレコーディングをずっと続けられますから。より多くの人たちがヤマハのドラムの音を聞けるように世界中をプレイして回り続けたいです。早く多くの人にPHXの音を聞いてもらいたいと思ってウズウズしていますよ。



INTRODUCING PHX

40年のドラム作りの経験をもとに開発。新素材や新構造の採用から生まれた新たなフラッグシップモデル。



「PHXシリーズ」(テキスチャードブラックサンバースト)

構成		
バスドラム「PHXB2418AGR」	メーカー希望小売価格(税込)	446,250円
フロアタム「PHXF1816AG」	メーカー希望小売価格(税込)	274,050円
フロアタム「PHXF1615AG」	メーカー希望小売価格(税込)	255,150円
タムタム「PHXT1412AG」	メーカー希望小売価格(税込)	232,050円
	メーカー希望小売価格(税込) 合計	1,207,500円

※写真のスネアドラム、シンバル、ハイハットおよびスタンド類はセットに含まれません。

音の響きと交換のしやすさを追求した「Newフックラグ」

ドラムヘッドとシェルをつなぐシステムは、当社の最上位モデル「アブソルートシリーズ」で採用している「ニューヴォーラグ」を発展させ、さらに振動の伝導効率を高める「Newフックラグ」を採用。



シェルの振動を最適化する新たな「Y.E.S.S.II」

シェルをスタンドなどに固定するシステムも、Y.E.S.S.(ヤマハエンハンスト サステインシステム)を改良した「Y.E.S.S.II」を採用。

タムタム、フロアタム、バスドラムのそれぞれに最適なベアリングエッジ形状とベントホールを採用

ヘッドを取り付ける際に接触するシェルのベアリングエッジ(上端部)は、タムタムでは丸みを帯びたエッジ、フロアタムではやや鋭いエッジ、バスドラムでは鋭い角度のエッジにし、ベントホール(空気穴)の数もシェルのサイズに応じて変えることによって、つながりが良い音が出るように最適化しています。

伝統的な仕上げに加え、新たな素材による斬新な仕上げを採用

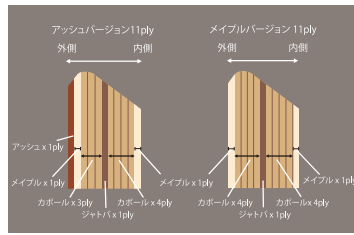
伝統的な平滑仕上げ(グロス/マット)のモデルに加え、アッシュ材の木目の凹凸を活かした「テキスチャードフィニッシュ」仕上げを追加。塗膜を薄くすることで、シェルの鳴りを最大限に引き出しています。



「PHXシリーズ」は、そのヤマハのドラム作り40年の経験をもとに、ヤマハのドラム製作の技術・ノウハウを駆使し、シェルの素材や構造を一から見直したフラッグシップモデル。全く新しい木材構成によるシェル、新開発の「Newフックラグ」や「Y.E.S.S.II」(シェルの鳴りを最大限に引き出すタムマウントシステム)などを採用することで、ドラムの本質的な「音」と「鳴り」の良さを徹底的に追求しました。

新たに採用した素材を多層構造で重ねた「ハイブリッドシェル構造」

音の核(芯)を作るシェル材の中央にメイプルよりもさらに硬質な材「ジャトバ」を置き、それを挟んでふくよかな中低域成分を含み、音のボディを作る材「カポール」を複数層重ね、外層には音の明るさと反応の良さを与え、全体のバランスを整える材「メイプル」を配しています。



●アッシュ (Ash)=日本名はトネリコ、ヤチダモ (谷地タモ)。堅く強いためバットやステッキなどに使われます。●メイプル (Maple)=日本名カエデ (楓)。堅く粘りのある木質。●ジャトバ (Jatoba)=アマゾンや中米産のマメ科の熱帯広葉樹。木材として非常に堅く耐久性がある。●カポール (Kapur)=東南アジア産のフタバガキ科の広葉樹。日本名は龍腦樹。香木としても知られる重厚な材。

PHXミニインタビュー

去る2008年11月14日、東京渋谷区のライブハウスにおいて記者発表が行われた。その際、サウンドをお披露目するゲストドラマーとして則竹裕之氏が登場。素晴らしい演奏を披露した。則竹氏のPHXの印象は？

「音的には、ほんとうに太いです。いままでパーチをずっと使っていたんです。そのふくよかな感じがずっと好きで。でも今回のPHXは、それをさらに発展させたというか、ダイナミックレンジが二桁も三桁も広がったようですね。このまま持って帰りたいですね。」…則竹裕之

PHX新製品記者発表の演奏シーンの動画は、ヤマハホームページ記者発表のページでご覧いただけます。ぜひ下記のページのアクセスしてご覧ください。 <http://www.yamaha.co.jp/BB/news/index.html>



Billy Sheehan Plays BB714BS & ATTITUDE LIMITED II

Mr. Big、デイヴ・リー・ロス・バンド、ナイアシ
ン…などという説明はもはや不要だろう。現在の
ロックシーンをリードする超技巧派ベーシ
スト、ピリー・シーン。ピリーは自らのシグネ
チャーモデルATTITUDEを長年愛用して
いるが、このたびATTITUDE-Limited IIの
ニューバージョンとBB714BSの2本がピ
リー・シーンモデルとして発売された。ニューモ
デル発売記念のセミナーで来日したピリー・シー
ンに、新しいベースについて語ってもらった。

74年に見たピリー・ギボンスの
“タッピング”には本当に驚いたよ。

■ベースを始めた子供の頃はどんな音楽を聴いて
いたんですか。

●ビートルズはよく聞いていたし、バンドをやりはじ
めたころは本当にいろんな曲を聴いたよ。でも初めてラ
ジオでジミ・ヘンドリックスの「パープル・ヘイズ」を聞
いた時はビックリした。彼は全く革命的だったよ。その
後、友達と一緒にニューヨークまでジミのショーを見
に行っただけで、次の日から世界が変わって見えたく
らいだ。

■独特のタッピング奏法はZZ TOPのギタリスト、ピ
リー・ギボンスに影響されたとか聞きました。

●1974年にアリス・クーパーのオープニングでZZ
TOPを観たんだ。その時、ピリー・ギボンスが目の前で
右手を使ってタッピングをしたんだ。74年当時、誰も
そんなことはやってなかった。本当に驚いたよ！今で
はいろんな人がやっているけど、僕はあの時に初めて
見たんだ。すぐに家に帰って試してみた。それが今の僕
のテクニクのルーツなのさ。



バンドの成功の鍵は、実際のところ
ドラムとベースが握っている。

■クリニックではベースとドラムのコンビネーション
について語っていらっしゃいましたね。

●バンドで一番重要な要素が、ドラムとベースのシンク
ロなんだ。ドラマーがビート感を出し、ベースはビートに
あわせて音程を出す。ベースはメロディーとビートを橋
渡しする重要なパートだ。ドラムとベースがしっかりし
た土台を作り、底辺を支えていれば、バンドは一体と
なってサウンドを作り上げることができる。バンドの成
功の鍵はドラムとベースが握っている、といっても過言
ではないんだ。

■ピリーさんのようにベースソロを弾きたい人も多
いと思います。

●ソロのアプローチとはいうのは無限にあるから自分
に合った方法は自分で探すしかない。でも一番効率的
な方法を教えよう。それは他の人のソロを研究するこ
と。ベース以外のソロでもいい。ピアノやサックスのソ
ロでもいいから真似してみるといい。僕もジャック・ブ
ルース、スタンリー・クラーク、ジャコなんかのソロをず
いぶんコピーしてきた。それを積み重
ねてソロのポキャブラリーを増やして
いくんだよ。

今回の僕のモデルBB714BS
は、最初に使った改造BBに
そっくりだ。

■ヤマハのベースを使い始めたのは
いつですか。

●1984年から。ヤマハとの付き合い
はもう25年近いね。僕の最初のヤマ
ハはBBだった。すばらしいベースで
信頼性も高かった。あのBBはデイヴ
・リー・ロス・バンドのツアーでも使った

よ。思い出深いベースだ。

■今回のBB714BSはど
んなコンセプトなんですか。

●最初の僕のBBによく似
ているよ。当時のBBは自
分の好みに合わせてもの
凄く改造していた。たと
えばネック側にあるウー
ハーピックアップ。60年代には
ネック側にハムピックアップ
が付いているベースが
たくさんあった。ビートルズ
のポール・マッカートニーの
初期のサウンドもそんな音
だったよ。ああいう超重
低音のサウンドが好きだ
からフロントにハムピッ
クアップをつけた。今
回のBBもそうしたよ。そ
れからATTITUDEより
少しネックを細くした。ATTITUDE
は僕の大きな手にあわ
せて太いからね。この
ネックでもヤマハの完
成度の高さが証明され
ているよ。どれを見ても
ネックは矢のようにま
っすぐなんだ。

■新しいATTITUDEは、
どこがポイントですか。

●今回のヴァージョン
アップがATTITUDEの
サードバージョンにな
る。基本的には同コン
セプトなんだけど、細
かい点をたくさん改良
をしたよ。それに無鉛
ハンダが使われている
から、環境にも優しい
。些細なことかも知
れないけど、ヤマハの
ような大きな会社が
率先して環境問題に
取り組むという姿勢が
いいよね。そんな素
晴らしいベースに自
分の名前が刻まれて
誇りに思うよ。カラ
ーは黒と赤の2色。特
に赤がきれいだらう？
これは下地に銀を塗
ってから赤を塗ってい
るから、3D効果が
得られて、すごくきれ
いな色になるんだ。

いいアーティストになるためには
なるべくたくさんライブをやるべきだ。

■最後に読者へメッセージをお願いします。



●今は、プロを目指すアーティストにとって恵まれた時
代だ。ラップトップPCがあれば、録音だって、CDだっ
て簡単に作れるし、インターネットでいろんな人に聴い
てもらえる。でもいいアーティストになるには、とにかく
ステージに上がってたくさんライブをやることだ。これ
は間違いない。何をやればいいのか迷った時や、疑問を
感じた時、ステージをやれば必ずと答えが見えてくる。
だから、上達してからステージをやるうだなんて決して
思わないこと。チャンスがあれば今すぐにもやるべき
だね。それから君がベーシストなら、ドラムと一体になっ
て演奏することを大切にしてほしい。ドラムについて勉強し

て、できればベーシスト
もスティックを持ってドラ
ムを叩いてみるべきだ。
ドラムのことがわかれば、
ベースの演奏も上手く
なるはずだ。もし新しい
BBやATTITUDEを買
ったら、ぜひ感想を聞
かせてほしい。メールを
もらったらできる限り返
事を書くようにしている
からね。



Instruments



ATTITUDE LIMITED II

メーカー希望小売価格 294,000円(税込)
<カラー:BL(ブラック)>

「ピリー・シーン」モデルをデザイン面からリフレッシュ
したニューバージョン。

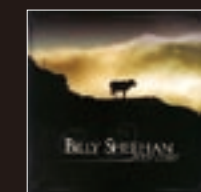


BB714BS

メーカー希望小売価格 105,000円(税込)
<カラー:LR(ラヴァレット)>

「もっとたくさんのファンに、もっと気軽に僕の楽器を
持って欲しい」というピリー・シーンの要望に応えるた
め開発された、ニューシグネチャーモデル。

Information



ピリー・シーン最新アルバム

「ホーリー・カウ!」

ビクターエンタテインメント
VICP-64525

moumoon Play APX900 & LL36



YUKA (ボーカル・作詞) と 榎昊佑 (ギター・作曲) の二人組ユニットmoumoon。Do As Infinity
復活ライブのオープニングアクトにも抜擢され、2008年11月12日には初のフルアルバム
「moumoon」を発売し、好セールスを記録するなど、ミュージックシーンの話題を集めている。イン
ストアライブなどではギター2台で演奏することもある二人に、アルバムのこと、そして愛用のヤマ
ハギターについて聞いた。



■ユニット結成のきっかけを教えてください。

YUKA:共通の知り合いを介して知り合いました。その
後、榎君のデモテープをもらって、聴いてみたら凄く
衝撃的で。私が歌いたい、作りたいと思っていた音楽
を作っている人がここにいたんだと思って。「出逢った
感」がありました。
榎:僕はそれまで他の人にそんなに「いい!」って言っ
てもらったことなかったから、音楽的なツボが近いん
でしょうね。

■ユニット名の意味と由来も教えてください。

YUKA:mouが「柔らかい」という意味のフランス語。
moonは「月」なんですけど、いつでも空にある感じ、
普遍性みたいなイメージです。

月の表と月の裏のように、
二つの面をもっていたい。

■moumoonが目指す音楽とはどんなものですか。

YUKA:基本はロックです。でもポップなもの、アコース
ティックなものもあって、一曲の中にも凄く激しい部分



最初指が小さいから、弾けるかなって思ったけど。
 柁:また音も凄いいんだよね。
 YUKA:自分ではギターの声があんまりわからないんですが、柁くんやディレクターの人が、YUKAちゃんのギターの声が一番いい！って。



上から下まで良く鳴るLL36。いまA.R.T.ピックアップを試してます。

■APX900のA.R.T.ピックアップシステムがいいんでしょうか。

柁:そうなんです。僕も今、自分のギターでA.R.T.ピックアップを試していますが、やっぱりいいですよ。すごく生っぽい。スタップとかPAさんとかに特に評判がいいです。最初は慣れなくて、弾いた時の強弱がそのまま出すぎる気がしてちょっと難しいなと思ったんですが、だんだん慣れてきました。音は間違いなく、いままでの方式より段違いにリアルですよ。凄くリアルだから、ある意味ごまかしが利かない位です。

■柁さんのギターはLLですか。

柁:LL36です。第一印象からボディが大きくて、凄く鳴



るなって言う印象があって。そこから弾き込んでもう一年ぐらいかな。やっぱり音が変わってきて、どんどん自分が好きな音になってくるんです。

■柁さんにとってLの魅力とは何ですか。

柁:下(低音)がちゃんとあって、上(高音)も綺麗なところ。作りがしっかりしてるからだと思うんですけど、とてもバランスよく鳴ってくれるんです。

■最後に読者にメッセージをお願いします。

YUKA:音楽をやってる人なら、誰もか頭の中に自分だけのサウンドってあると思うんです。それを自分で作るもよし、私みたいに具現化する人を見つけるのもOK。それからポーカルなら、場数が大切ですね。ストリートライブを1年間やっていて、急に声量が上がった瞬間があって、これはボイトレでは得られなかったものです。柁:楽器って、自分一人で弾いていて楽しくて、それを聴かせるとまた楽しくて。僕は楽器に夢中でめり込んで来たけど、今思うととてもいいことだったと思います。飽きっぽい僕だけど、音楽だけはずっと飽きなかった。好きならずっと弾き続けたい。楽しいからみんな、どんどん楽器弾きましょって感じですかね。

と柔らかい部分があるんです。moumoonって名前は幻想的だけど、中身は激しい面と、脆くて儂い面があって。打ち壊したい衝動と、慈しみたい気持ち。そういう両極端がmoumoonらしさじゃないかな。月の裏側とか、月の満ち欠けに通じるものかもしれません。柁:サウンドの中に激しいものと、静かで切ないもののが、共存できればいいなと思ってます。

■初のフルアルバム「moumoon」は、どんなアルバムですか。

YUKA:初めて聴いてもらった人に、インディーズからの流れを知ってもらえて、前からmoumoonを知っている人には成長や変化を感じてもらえる14曲を収録しました。柁:本当に自分たちのやりたい曲が入っていて、しかもいろんなタイプの曲があります。激しい曲もあるけど優しい曲も。14曲もあるので、ほんとに今の僕たちが分かってもらえると思います。

曲ができれば詞の前に絵を描く。それでイメージを共有するんです。

■作曲が柁さんでYUKAさんが作詞ですが、どんな風に曲を作るのですか。

YUKA:まず柁くんが曲を作って、曲を預かる私とその曲のイメージを絵に描いて、お互いにイメージを確認してから詞を作るんです。絵でイメージが共有できるし、詞やアレンジにブレがなくなるじゃないですか。私にとって曲作りの一番楽しい時間は、絵を描いている時間なんです。

柁:僕は自分の中では風景が見えていないことが多いんですけど、YUKAの絵でイメージが明確になってアレンジの助けになったりします。

女の子でも弾きやすいAPX。それに音も凄いいんですよ。

■YUKAさんはいつからギターを？

YUKA:一度中学で挫折して以来、弾いてませんでした。でもmoumoonのインストアライブなんかで弾けたらいいなって思って。インストアはいつも柁くんのギター1本でやってたんですけど、私が少しでもギターでサポートできれば、柁くんがもうすこし自由にギターが弾けるんじゃないかと思って練習を始めました。2007年の7月でのワンマンライブから人前で弾くようになったんです。かなりドキドキでしたけど。

■ステージでギターを弾くのは楽しいですか。

YUKA:すごく楽しいです。柁くん、こんなに気持ちがいいことを味わっていたのか！って。

■弾いているのはAPX900ですよな。

YUKA:とても弾きやすくていいギターだと思います。



A.R.T.ピックアップシステムとは

「Acoustic Resonance Transducer (アコースティック レゾナンス トランスデューサー)とは新開発の3ウェイピックアップで、独自の積層構造とセッティングとの組み合わせによって高音質な電気増幅機能とハウリング耐性を両立させた画期的なシステム。従来のエレクトリックアコースティックギターに特有のクセのあるサウンドを抑え、極めて自然なアコースティックサウンドを再現します。さらにハウリングが発生しにくい設計により、ステージやスタジオでの音作りの自由度がアップします。



Instruments

APX900 CRB
 メーカー希望小売価格
 115,500円(税込)

A.R.T.3way
 ピックアップを搭載。

LL36ARE
 メーカー希望小売価格
 378,000円(税込)

オリジナルジャンボ
 ボディが生み出す
 伝統のLサウンド。

Information

moumoon、
4th Single
「EVERGREEN」

[CD+DVD]AVCD-31555/B
1,890円(税込)
[CD]AVCD-31556
1,050円(税込)
エイバックス・エンタテインメント

moumoon、
ファーストフルアルバム!
「moumoon」

[CD+DVD]AVCD-23681/B
3,990円(税込)
[CD]AVCD-23682
3,059円(税込)
エイバックス・エンタテインメント

Event Special Report

The SCHOOL of ROCK'08 音楽祭

ヤマハは音楽を通じて中学・高校生生のバンド活動を支援するキャンペーン「The SCHOOL of ROCK」を開催し、趣旨にご賛同いただいた全国の学校にキャンペーン期間中、楽器を貸し出ししました。昨年10月26日には、東京・池袋で開催された「2008楽器フェスティバル」のイベント特設ステージで、そのうち9校が参加して音楽祭を開催。熱演が繰り広げられました。このコーナーでは、ライブの様子とゲストコメンテーターとしてお迎えしたプロミュージシャンの方々のインタビューをご紹介します。



The School of Rock学園祭
 出演校
 ■正則高等学校 ■東京都立農業高等学校
 ■栃木県立田沼高等学校 ■千代田ホームスクール
 ■聖隷クリフター高等学校 ■創成館高等学校
 ■中部大学第一高等学校 ■おかやま山陽高等学校
 ■ドリームフィールド

スクール・オブ・ロック ゲストコメンテーターインタビュー

「次回は、もっととんでもない人の登場を、期待してます」



ROLLY (The 卍)

僕自身がヤマハのコンテストの出身です。一年に一度、ヤマハのコンテストで発表するのが唯一の楽しみでした。僕の時代は学校でエレキを弾いたらまだ怒られた時代なんです。ヤマハが学校に楽器を貸してくれるなんて、当時はあり得ない事でした。いい時代になったなあと思います。次の機会の際は演奏プラス見せるところまで、気を使ってみて欲しいです。あとは、ビックリするようなバンドを見たいですね。ロックは自己表現ですから。



御供 信弘

ほくの高校時代に、こんな風に楽器が借りられたら、もっとバンド活動が活発になったかもしれません。今日演奏を聴かせてもらったけどレベルは今の方が高いのかな。ただ、カバー曲の演奏が多かったけど、アレンジをちょっと工夫してみるといいと思います。たとえば2曲コピーしたら、リズムやテンポの感じを入れ替えてみるとかね。あとはとにかく弾きまくって「寝ても弾ける」ぐらいに体になじませるといいでしょう。



kiyo (Janne Da Arc)

ほくもヤマハの「ティーンズ・ミュージック・フェスティバル」に出ましたよ。僕が出た頃は、ちょうど難しいことをしたくなる年頃だったので、複雑なことをやったりしていました。今後はぜひオリジナルにも挑戦してもらいたいと思います。いきなりオリジナルだと敷居が高いかも知れませんが、最初はカバーの延長で、アレンジを変えたりテンポを思い切り速くしたりしてみるのも手ですね。



坂東 慧 (T-SQUARE)

懐かしいっていうか、正直、ほくもこういうコンテストに出ていて、こんな雰囲気だったなって思い出しました。僕らの時はテクニックを披露するヤツがたくさんいましたけど、今日もプロ顔負けの十分完成されたテクニックを持った人もいましたね。凄いなと思いました。次は、ぶっ飛んだ系とか、とんでもないものとか、見たいですね。せっかくだからプロをビックリさせてほしいです。

Instruments SCHOOL of ROCK '08で貸し出したモデル。

RGXA2
 メーカー希望小売価格 65,100円(税込)

RBX4A2
 メーカー希望小売価格 75,600円(税込)

DTXPLOER
ベーシックセット
 メーカー希望小売価格
 99,750円(税込)

ミュージックシンセサイザー
MM6
 オープン価格